



名古屋いのちの電話

名古屋いのちの電話



歩くこと

歩くこと
それはなんと
すばらしいことだろう
歩くのに目的がなくてなぜ歩こう
歩くとは
宙を歩くことではない
歩くとはい
大地を歩くことだ。

ズルズルと
俺の足は重たい
ヨタヨタと
俺の足は力ない
フラフラと
夢遊病者のようだ
なぜそんなに
ひきずって歩くのだ。
そんな歩き方は
大地に対して失礼だ。
軽く しっかり歩こう
そう きめた。

(矢沢幸詩集「光る砂漠」より)

魂への配慮

—ヨーロッパにおける生活・体験のなかで感じたこと、そして……—

名古屋ルーテル希望教会牧師

早川 顕一

1. 不条理の哲学

ギリシャ神話のなかに「シジフォスの話」というのがある。シジフォスは、神々に逆らった罰として大きな岩石を山の頂に押し上げる労働が科せられる。この岩石は、いま一息というところで、常にはね返り転がり落ち、その労働に終りが無いといわれる。

アルベール・カミュにはこの神話に寓して、その根本思想〈不条理の哲学〉を展開した「シジフォスの神話」という作品がある。このエッセイの中でカミュは、「真に重大な哲学上の問題はひとつしかない。自殺ということだ。人生が生きるに値するか否かを判断する、これが哲学の問題にこたえることなのである。」といている。

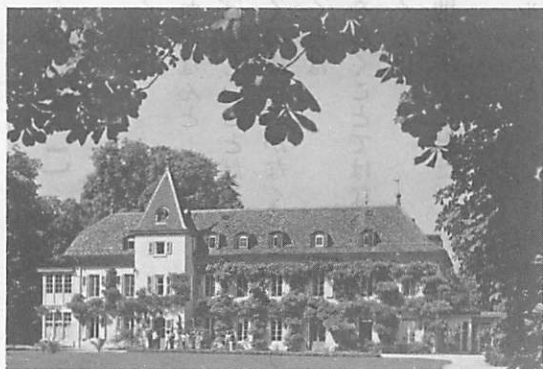
人生の不条理を明瞭に意識しながら、しかも絶望することなく刻々を生きることこそ、不条理の人生を生きる価値あらしめる唯一の道である、と彼は主張する。そして、陰府の国で絶えず転落する大岩を山頂に押し上げる過酷な労働を永久に繰返している

シジフォスの話は、そのまま、我々の人生にあてはまるものであるが、シジフォスはその無限の敗北の努力の中に、刻々の歓喜と幸福とを見出しようというのがカミュの信条であるという。

カミュの「死に対する不断の反抗」の思想は、「異邦人」において、更に「ペスト」において、その文学的表現を得たといわれている。

近頃、彼の作品は余り読まれていないようであるが、今一度その作品に触れて、〈不条理の哲学〉について考えてみることも有益だと思う。

何故、人は自ら死を選ぶのか。「自殺は罪だ」といって見たところで、それが減る訳ではなく、生活が豊かになっても、世の中が平和になっても、なくなることはない。



スイス・ボセイ城の宿舎



シャモニー・モンブランにて

2. スイスでできた電話相談の呼びかけ

昨年10月から今年の3月まで、スイスでの研修の機会が与えられ、ドイツ、フランス、イタリアそしてイスラエル諸国を訪れることが出来た。

そこで、ジュネーブ郊外に居住している牧師、教授など主として知識人たちに「今日あなたの国で最大問題は何か」というアンケートを求めたところ①エイズ ②自然破壊 ③離婚 ④核の問題などがあげられた（西ドイツでもほぼ同様の結果がえられた。またさらに何人かの人々が、ガンや自殺の問題をあげた。）平和の国そして理想国家スイスでも、自殺の問題は依然として、大きな問題であった。

私は、ジュネーブよりローザンヌ方面行汽車で約30分、セリニー駅から徒歩25分ほどのところにある11世紀の古城「ボセイ城」を宿舎に、そこで半年間を過した。そこからは、美しいレマン湖が見え、またはるか彼方にアルプス連峰、そしてフランス・アルプスの最高峰、標高4807メートルのモンブランを望み見ることができる。

しかし、都心からはなれた別天地で聞くラジオに「もしも相談事や、悩んでいることがあるならば、どこそこに電話をするように……」という電話相談のよびかけが入ってきた。

3. 魂への配慮

クリスマス休暇に、二週間程、西ドイツのエッセン地方に行き、1年中最も多忙な教会のお手伝い



ジュネーブ

をさせて頂いた。そこで、話が「いのちの電話」のことにふれると、H牧師は、書斎から一冊の雑誌を持ち出してきて「この雑誌の今月号に、あなたの国のレーベンス・テレフォン（いのちの電話の直訳ドイツ語）の記事がある」といって見せてくれた。

それは<WeltMission>（世界宣教）という月刊誌で、齋藤先生、ヘットキャンプ姉、シスター・ハヤシそして徳善夫人の写真入りで、東京いのちの電話が<トキオ・レーベンステレフォン>として、紹介されていた。

ドイツでは、<テレフォンゼールゾルゲ>とよばれている。直訳すると、電話による魂の配慮となるが、悩める人のお世話を親身になって行なうという意味がこめられている。

私は今回5年ぶりで西ドイツのノイエンデッテルサウに行くことができたので、そこのディアコニア・ハウスの諸施設を見学させて頂いた。殊に清潔で、心憎いばかりの配慮がなされた老人施設を見、そこで働いている人々に会って、ここで人生の最後を送る人達は何と幸いなことかと思った。

孤独の中にだれにも知られず死んだ老人、老人施設での焼死事件、老人の自殺、はては、老夫婦の痛ましい心中事件など日本の現実を思い背筋が寒くなる思いがした。老人施設をつくることも大切だが、先ず、老人を敬い、愛する心が大切であろう。老人を食い者にする施設もあるという。今こそ、真に老人のために、親身になって、その魂までも配慮（Seelesorge）する人が求められているときはない。そんなことを考えながら、6ヶ月におよぶ研修を終えて、フランクフルト空港から再び機上の人となり、懐かしい祖国に帰り着いた。

そして、そこに待っていたものは、ヨーロッパとは余りにも異なった日本の現実であった。

（名古屋いのちの電話運営委員）

ひとりぼっちで悩まずに 相談電話 052(971)4343

※・※・※・※・※ ・※・※ ※・※ ※・※

第3回 チャリティーコンサート

由紀さおり・安田祥子童謡を歌う

いやあ、良かった 良かった、たくさんの人に来ていただいて、大成功で私も来た甲斐があったわ

去る6月20日愛知県文化講堂で開催された、第3回チャリティーコンサートはおかげさまで大成功のうちに終えることができました。まず感謝もってご報告させていただきます。

切符が売れ過ぎて困ったってねえ

NHK、東海テレビ・ラジオ、中日新聞のご支援で前宣伝も充分。さらに関係の皆様の大奮迅で前売券だけで1800枚以上が売れ、プレイガイドの切符を引き上げ、新聞に売り切れの謝罪広告を掲載するという、なんとも信じられない？状況にてんてこ舞い的一幕には正直驚きました。



切符を買えなかった人ごめんね

また当日は通路に立ってまでご覧いただき本当に申し訳ございませんでした。

いやいや、でも、たくさんの収益が上がったってほんとに良かったねえ

おかげさまで予算を遙かに上回る純益をあげることができ(240万円)何から何まで火の車の名古屋いのちの電話にとりましてどれほど大きな力になった

かわかりません。有意義に用いさせていただきます。

特に、いのちの電話の主旨にご賛同いただき、破格のギャラでご協力いただいた、由紀さおりさん、安田祥子さん、安田音楽事務所の皆様に感謝申し上げます。

だってみんな頑張っているんだもん。それぐらいの協力はしなくっちゃ

そして、今回よかったことのもう一つは、コンサートの内容が“いのちの電話らしい”プログラムだったことです。これはいままでのクラシック演奏会がどうといった問題ではなく、童謡という内容に何かとってものちの電話らしさを感じる人が多かったのではないのでしょうか。

文化講堂の裏方のおじさんがこんなことを言っていました。

俺よう、今日の演奏会好きだわ。いつもは訳のわからん歌ばかりだでいかんけど、今日はみんな俺の知るとる歌ばかりだったで、ほんとよかったがね

このチャリティーコンサートに関係、ご協力いただきましたすべての皆様に、この紙面をお借りいたしまして、言い尽くせません感謝とお礼を申し上げます。



ぼろんあまびるば

私にとって、いのちの電話とは

第1期相談員

私がいちのちの電話にかかわって6年余り、講義・人間関係基礎訓練・その後続く研修と一生懸命取り組み、学んできた今、ふと立止まり、私にとって、いのちの電話とは何だろうかと考えてみる必要があります。

自分自身の中で、はっきりと言えることは、私にとって「自分をみつめる」場であるということです。それは知識ではなく、「人生とは」「人間らしく自由に生きるということとは」という問いに、電話をかけてくる人々を通して、また、いのちの電話に関わっている人々を通して学び応えるということです。

私が今まで関わってきた場は、どちらかというと、同じ価値観、同じ様な感性の人々が集い、人とのかわりの中で何もとまどうことなく、とても安定した場でした。しかし、いのちの電話に訴えてくる人々は、本当に色々な価値観を持っており、その考え方・感じ方・生き方に最初はとまどい、驚いたというのが正直な気持です。

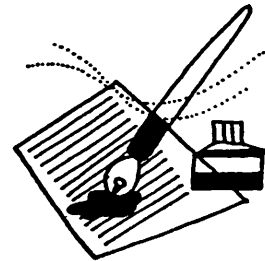
でも、今では沢山の電話を通して、人間というのは本当に多様な価値観を持ち、その中で、悩み苦しみながら必死に生きているのだなあ、何と健気で一生懸命なのだろうかと思った時、それだからこそ一人一人を大切に、その存在を認め受け容れなければいけないのだということをつくづく感じました。電話をかけてくる人々の訴えに耳を傾け、心を開く時、その人のそれまで生きてきた重さ、その人しか背負えない、又、その人自身が乗り越えなければならない辛さ、苦しさ、悲しみを、私の未熟な心でなんとかうけとめ、心にそってあげたいと思う時、私自身の生き方と向き合い、自問自答していることに気づきます。それは、私も同じように、心の中にこだわりを持ち、重荷を負っている弱い人間であることに気づくからなのです。それによって、最近自分自身が、とても他人に対してやさしくなれるようになります。そして今までにも増して、人間がとても大好きになりました。それが、私がいちのちの電話に

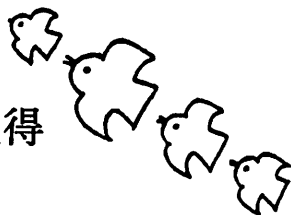
関わって一番変わったと思う点です。

最近、私自身が子供の問題で辛くどうしたら良いか全く分らない気持ちに打ちひしがれた時期がありました。その時に私は、とても貴重な勉強をしたと、今ふり返って思います。周りの人々に、私のその出口のない様な辛い気持ちを話し、受容してもらえたと感じた時、どれ程心の中に、安らかさと穏やかさを持つことができたことか、又、反対に、受け容れてもらえていないと感じた時の淋しさ、孤独感は、本当に言葉では言い表わせない程でした。その淋しさを身をもって感じた時、相手の心に沿うこと、受容するということのむずかしさを、今まで思っていた以上につくづく感じました。

幸いなことに、私には心から支えとなってくれる家族や、いのちの電話の仲間や、友人が沢山いるのです。それを思った時に、今まで私が電話を通して関わってきた人々のことを考え、その人達に対して、私が支えられた心の何十分の一、何百分の一位の細かい支えにでもなれたらと思ひ、更に学びを続けなければと思いました。

この6年間に得ることのできた貴重な気づきは、私のこれからの生き方を、豊かに、広く、深くする大切な宝物だと思います。そして、いのちの電話にかかわる機会に恵まれたことを、心から感謝します。





「名古屋いのちの電話」社会福祉法人格取得 のために、ご協力を!!

法人化にむけて

名古屋いのちの電話が開局して以来、2年5ヶ月が経過し、現在、150名の相談員が電話に応じています。今日までの相談件数は、2万件をこえ、まずは、順調に初期の目的を達成しつつあります。

この活動を恒久的に維持し、継続性をもたせる一方、電話機の増設、24時間体制への移行等、課題は山積みしております。そのためには、どうしても社会福祉法人格の取得を急がねばなりません。

社会福祉法人になれば、この「名古屋いのちの電話」の働きが社会的に公認され、運営資金を寄付等でまかなっているこの活動にとっては、強力な援護となるからです。つまり、1万円を超える寄付をした場合、その超えた金額が、個人、法人を問わず、所得税、法人税の算出の際に損金扱いになりますので、今までより寄付をお願いしやすくなるわけです。ただ、社会福祉法人の認可を愛知県に申請する条件に、財政的基盤としての基金が何千万円という単位が必要になります。

そのために、特別に委員会を設置し、豊田寿子理事を委員長として活動を開始することになりました。詳細は、いずれ趣意書を作成し、お手元にお届けいたしますので、その節には、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「名古屋いのちの電話」が社会に果たす役割は、こうした草の根運動的な広がりにより一層大きくなり、ますます期待されていくことと思います。どうぞこれからも、この活動を支えてくださいますようお願い申し上げます。

なお、委員のメンバーは、次のとおりです。

委員長	豊田 寿子	
委員	内河 恵一	勝野 允夫
	加藤 順子	加藤 迪春
	川原 啓美	木島 正司
	木本 精之助	小山 勇
	相馬 信夫	塚田 道生
	長井 潤	西沢 信正
	水谷 巍	向田 正俊

名古屋いのちの電話公開講演会

狐狸庵先生大いに語る

「自分といのち」

講師 遠藤 周作

11月17日(火) 午後7:00 開場 6:30

鶴舞公園 名古屋市公会堂大ホール

入場料 1,000円 前売

1,300円 当日

＝寄付(個人)＝

佐々木 さと子	山口 幸男	高橋 玖美子	岩井 英子	楠 忠男	惣 良夫
内川 正邦	西村 洲衛男	武保 輝彦	三田村 吉朗	吉田 万里	安藤 和代
中村 三郎	内川 正邦	佐藤 洋子	長岡 利貞	戸田 安士	神野 絢子
明明堂古川充久	水野 寅	池田 妙子	西尾 美芳	太田 喜久雄	岩佐 敏志
三井 とみ恵	服部 隆晴	久野 ひろ子	真木 芳子	西島 悦代	佐藤 千代
宇井 志緒利	守田 てる	水野 愛子	中川 晋介	杉浦 玉	生田 和夫
中川 鋪子	矢吹 三千代	高橋 一美	梶原 寿	佐々木 千恵子	

＝寄付(団体)＝

日本キリスト教団堀川伝道所 名古屋福音伝道教会 中部電力K. K. 名古屋鉄道K. K. 名古屋キリスト教協議会 アケボノ棺仁葬儀社 在日大韓キリスト教名古屋教会婦人会 金城学院みどり野会メサイヤ部 東海理化労働組合 善正寺 聖心侍女修道会 珊瑚会 日本キリスト教団金城教会婦人会 瑞浪カトリック教会

＝助成金＝

中日新聞社事業団

合計 315口 2,783,545円

＝寄贈＝

ステッカー 20,000枚 桑原マーク

―― 名古屋いのちの電話日誌

4月4日(出) 登録のための半日研修(I期生)	22日(月) 運営委員会
6日(月) 訓練委員会	25日(休) 財務委員会
7日(火) II期生認定式	27日(出) 近畿・東海ブロック統計担当者会(於・京都)
13日(月) 運営委員会	29日(月) 訓練委員会
20日(月) 世話人会	7月4日(出) 第2回 ボランティア・フォーラム
23日(休) 財務委員会	17日(金) 近畿・東海ブロック統計担当者会(於・京都)
27日(月) 訓練委員会	20日(月) 訓練委員会
5月11日(月) 運営委員会	27日(月) 運営委員会
15日(金) 財務委員会	8月17日(月) 世話人会
16日(出) 近畿・東海ブロック統計担当者会(於・関西)	31日(月) 訓練委員会
17日(日) " 訓練担当者会(於・和歌山)	9月4日(金) 近畿・東海ブロック統計担当者会(於・京都)
18日(月) 世話人会	11日(金) 財務委員会
25日(月) 訓練委員会	14日(月) 運営委員会
27日(休) 理事会	18日(金) 全国統計担当者会(於・大阪)
6月2日(火) 由紀さおり・安田祥子	19日(出) 理事会、世話人会
チャリティー・コンサート(於・文化講堂)	21日(月) 電気通信普及財団助成金贈呈式
9日(火) 近畿・東海ブロック主事会(於・名古屋)	25日(金) 訓練委員会
10日(休) 財務委員会	
15日(月) 世話人会	

【MEMO】

絵本の頁を繰るように街が秋色に変わり、新しい季節となりました。

「名古屋いのちの電話」も歩き始めて2年半。軌道にのりかけたような、そうでないよ

うな……。少しずつ新しい仲間を迎えて、皆で新しい一頁を作りつつあります。たくさんの課題を山積みしながら機関紙9号をお届けすることができて、ほっとしている“秋”です。

名古屋いのちの電話

〒460 名古屋市中区丸の内三丁目6-43 みこころセンタービル4F
事務局 ☎052-971-5181 郵便振替口座 名古屋 1-53758

1987年11月1日 発行
発行人 相馬 信夫
編集人 広報委員会